

## 八峰白神ジオの恵みプロダクトの紹介

八峰町ならではの食の魅力を発信する「八峰白神ジオの恵みプロダクト」を開始しました。参加していただいた商品を紹介いたします。

【はたはた100%しよつる】



藤田 はるみさん

八峰産ハタハタだけで仕込む手づくりの伝統調味料です。じっくりと長期間の発酵・熟成により、美しい琥珀色のしよつるに仕上がりました。なべ物などのほか、パスタや各種料理の隠し味にお使いください。

### 秋田県北部漁業女性部 ひより会

住所 八峰町八森字滝の間 253-2

電話 0185-77-2835

今後も「八峰白神ジオの恵みプロダクト」を募集します。詳細はお問合せください。

■問合せ先 八峰白神ジオパーク推進協議会事務局（八峰町産業振興課内）  
☎0185-76-4605 FAX 0185-76-2203



# 八峰白神ジオパーク

連載 132回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係

☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203

HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



## 白神の恵みに生きる

地域の人の話を聞いて、  
大地と自然と人のつながりを考えます



### 【住み慣れたこの場所には特別な思いがあります】



話をしてくれた人

### 奈良 徳男 (なら とくお) さん

昭和16年7月生まれ。樺自治会長および樺老人クラブ副会長。元八峰町消防団副団長。旧八森町職員。現在はお酒も飲まず、たばこも吸わず、規則正しい生活を心がけています。

#### ◎地名の由来はヤブツバキ

現在の樺地区は、発盛鉱業所周辺をエリアとする上樺地区と海岸線通りのエリアとする下樺地区が1本にまとまったものです。

地名の由来は、この地にたくさんヤブツバキが群生していたことからだと聞いています。しかし現在、そのヤブツバキの木は残念ながら数本しか残っていません。

自分が住んでいる下樺地区は、面白いことに宅地がきちっと同じような形であるため、住宅と作業小屋を一緒に建てることができず、道路を挟んで、山側に住宅を建てて、海側に作業小屋を建てているという特徴があります。

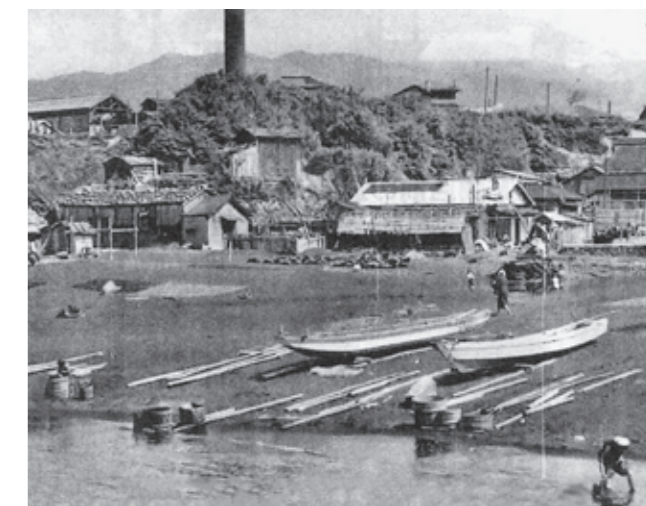
#### ◎今と昔／ずっと樺地区を見てきて

自分達が子どもの頃遊んだ樺海岸の砂浜は、全体

的にカラミの黒い砂でした。柱状節理がある所は今でもカラミ(黒い砂)なのですけどね。当時は、木くずやゴミがない広い砂浜だったから、ここで野球とかボール遊びをしていました。この砂が熱いんです。夏は泳いでワカメをとって、それを砂に埋めて、海の水で洗って食べていました。当時、この地域には同級生が18人くらいもいたので、遊ぶ場所には困っていたけれども、遊ぶ相手には困らなかったです。あと、下樺地区では海に近い土地柄のため、半農半漁の生活をしている人が多かったです。船は家2軒で1艘または家1軒で1艘所持している人もいて、船外機がある船や船で漕ぐ船もありました。ハタハタの時期になると10艘以上の船が浜にずらーと並んでいたものです。

そのときからどんどん時間が流れていって、樺地区での大きな変化といえば海辺の景色の他に空き家や空き地が増えていったことだね。跡継ぎがいればそう人口減にはならないのですが、跡継ぎがいらない。そして、高齢者が亡くなっていって…ここだけの問題ではないですけどね。

でも、ここは自分がずっと生活してきた場所ですので特別な思いがあります。



▲昭和30年の樺海岸(奈良徳男さん提供)